

豚流行性下痢 (PED)

原因：コロナウイルス科PEDウイルスの経口感染

症状：水様性下痢、嘔吐、元気消失、食欲不振

全ての日齢で発生するが、哺乳豚の死亡率高い

*症状のみでPED判断できない 症状が似ている病気との鑑別が重要!!

→ 伝染性胃腸炎 (TGE)、豚口タウイルス病、大腸菌性下痢、サルモネラ症

①～③の症状のいずれかに該当する場合は直ちに獣医師、家保へ連絡

① 複数の繁殖母豚が分娩した哺乳豚のうち半数以上が水様性下痢、嘔吐または死亡した場合

② 同じ繁殖母豚が分娩した哺乳豚のうち1頭以上が水様性下痢や嘔吐、死亡し半日以内に同腹の哺乳豚や他の哺乳豚に同じ症状が出た場合

③ 同じ区画で複数の繁殖豚や肥育豚が食欲不振、下痢、嘔吐した場合

*上記に該当しなくても通常と異なる下痢、嘔吐、食欲不振、死亡があれば連絡する

予防対策

- 1 飼料運搬車、豚運搬車などの車両消毒
 - ・タイヤハウス、荷台は特に念入りに!! ドアノブ、ペダル、マット等も
- 2 人
 - ・手指、靴底消毒 ・農場専用の衣服、長靴使用 ・入場記録記入
- 3 導入豚
 - ・導入元の疾病発生状況把握 ・隔離豚舎で2～4週間隔離
- 4 農場内まん延防止
 - ・繁殖分娩舎作業員を専従 ・豚舎毎に専用衣服、長靴 ・作業員の動線分離
- 5 ワクチン
 - ・繁殖母豚へのワクチン接種
- 6 早期通報

PEDウイルス4ヶ月感染力が持続するともいわれます

消毒薬 *土や糞などの付着混入、低温により効果が低下します

- ・車両には逆性石鹼、アルデヒド系を高濃度で使用
- ・踏込消毒槽はオルソ剤や「1%消石灰 + 逆性石鹼500倍」が即効性と効果持続良い

★異状を認めた場合は家畜保健衛生所に連絡してください

0574-25-3111

土日・祝日・閉庁時は案内に従い「1」番をプッシュしてください

つながらない場合は0574-25-3484 にお願ひします

中濃家畜保健衛生所

TEL 0574-25-3111 FAX 0574-27-3092